

## 7. 卒業後の進路



## 7 - 1 学 科 の 就 職

学科の卒業生の数は、約 6,100 人に達し、それぞれに大企業や特色ある中小の企業などの産業界、あるいは官公庁など、社会の様々な分野で目覚ましい活躍をしています。

本校創立以来、毎年就職は 100% で、23 年度の求人社数は全体で約 1,900 社に及んでいます。次表に、過去 3 年間の卒業生の就職先を示します。

機械工学科	電気電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	環境都市工学科
J F E スチール	ANA アビオニクス	J U K I	C I J ネット	N I P P O
M テック	J A L 航空機整備東京	M テック	N T T - M E	N T T インフラネット
N T T - M E	Meiji Seika ファルマ	N H K アイテック	N T T コミュニケーションズ	N T T - M E
アイ・エイチ・アイエムコネクテッド	M テック	N O K	N T T コムウェア	宇部パス技研工業
アイシン精機	NEC ネットエスアイ	N T T - M E	N T T データ	宇部マテリアルズ
曙ブレーキ工業	エンジニアリング	安西メディカル	T I D	小川製作所
出光興産	N T T コミュニケーションズ	出光興産	Y 2 S	開発虎ノ門コンサルタント
宇部興産	N T T ファシリティーズ	イトーキ	アステル	環境管理センター
荏原エリオット	T O T O バスクリエイト	大崎電気システムズ	アドバンテスト	コーセツコンサルタント
コスモ石油	君津共同火力	サントリーホールディングス	安西製作所	駒井鉄工
鷺宮製作所	京セラコミュニケーション	ジュビターコーポレーション	イーエスケイ	山丸
サントリーホールディングス	京セラ佐倉事業所	ダイキン工業	大崎コンピュータエンジニアリング	しんきん情報システムセンター
シチズン時計	京葉防災設備	J N C エンジニアリング	沖電気カスタマドテック	新日本製鐵
ジャパンエンジニアリング	サントリーホールディングス	ツムラ	キャノン電子	テツゲン
J N C 石油化学	ジュビターコーポレーション	テツゲン	キャノンマーケティングジャパン	東海旅客鉄道
千代田工商	新日本製鐵	東海旅客鉄道	クラリオン	東京ガスパイプライン
テルモ	石油資源開発	東京ガス ST コミュネット	ケイシーシー	東京水道サービス
電気化学工業	東海旅客鉄道	東京電力	鷺宮製作所	東京電力
東海旅客鉄道	東京エレクトロン F E	東芝エレベーター	山武	東電工業
東京ガスパイプライン	東京電力	東邦化学工業	セルシス	西松建設
東京電力	ドコモエンジニアリング	東洋インキ製造	東京ガス	日鐵パイプライン
東洋エンジニアリング	ニコン	東レ	東芝 IT サービス	東日本旅客鉄道
成田空港給油施設	日本原子力発電所	ドコモエンジニアリング	ドウゴ	日立プラントテクノロジ
日鐵運輸	日本航空テクノ	成田エアポートテクノ	ナツツウエル	藤本電業
日本貨物鉄道	日本製粉	成田空港給油施設	日鉄エレックス	藤田金物店
日本電産	ネオテック	日清製粉	日鐵テクノリサーチ	前田道路
東鋼	富士通	日鐵エレックス	ニフティ	宮地建設工業
フジケンエンジニアリング	富士通アドバンスソリューションズ	日本海洋掘削	任天堂	宮地鐵工所
前田製作所	三菱重工業	日本光電工業	パナソニック I T S	若葉建設
丸善石油化学	メタウォーター	日立谷コンピュータシステム	日立 I N S ソフトウェア	千葉県
三菱電機ビルテクノサービス	リコーテクノシステムズ	富士重工業航空カンパニー	日立建機御リレーションズ	木更津市
ミヨシ油脂	レンゴー	三菱電機エンジニアリング	日立東日本リレーションズ	袖ヶ浦市
メタウォーター	電気化学工業	山田電器工業	日立メディコ	自営業
山武	東芝電機サービス	雪印メグミルク	富士ソフト	
リコー	東日本電気エンジニアリング	国立印刷局	富士通	
新日本製鐵	東洋インキ製造		富士通アドバンスソリューションズ	
森精機	日本たばこ産業		リコーテクノシステムズ	
日鉄鉱業	日本海洋掘削		吉野工業所	
日本ビソー	日本精工			
日立メディコ	日本電設工業			
富士重工業	日本板硝子			
妙中鉱業	不二製油			
	妙中鉱業			
	川口市			

## 7-2 学 科 の 進 学

本校は、創造性豊かな工業技術者を社会に送り出すことを目的に設立されましたが、近年では、高専を卒業して更に大学へ進学し勉学を続けたいという学生も多くなりました。そのため大学編入という道が開かれており、150以上の大学が高専からの編入学を受け入れています。

近年高専に専攻科が設けられ、本校にも平成13年度に設置されました。これにより、さらに進学の道が広がっています。

卒業後の約半数が高専専攻科及び大学に進学しています。

詳しくは学生課の「掲示板」及び「進学関係資料コーナー」で閲覧してください。

### 高専専攻科入学先

木更津工業高等専門学校	鈴鹿工業高等専門学校	久留米工業高等専門学校
豊田工業高等専門学校	松江工業高等専門学校	舞鶴工業高等専門学校
八戸工業高等専門学校	福島工業高等専門学校	奈良工業高等専門学校
鶴岡工業高等専門学校	都立産業技術高等専門学校	

### 大学編入学先

北海道大学	金沢大学	佐賀大学
室蘭工業大学	福井大学	長崎大学
北見工業大学	山梨大学	熊本大学
弘前大学	信州大学	宮崎大学
岩手大学	岐阜大学	琉球大学
東北大学	静岡大学	前橋工科大学
秋田大学	豊橋技術科学大学	首都大学東京
山形大学	三重大学	はこだて未来大学
茨城大学	京都大学	愛知県立大学
筑波大学	京都工芸繊維大学	大阪府立大学
宇都宮大学	大阪大学	埼玉工業大学
群馬大学	神戸大学	千葉工業大学
埼玉大学	和歌山大学	大正大学
千葉大学	鳥取大学	東京造形大学
東京大学	島根大学	東京電機大学
東京農工大学	岡山大学	東京理科大学
東京工業大学	広島大学	日本大学
東京海洋大学	山口大学	明治大学
お茶の水女子大学	徳島大学	神奈川大学
電気通信大学	愛媛大学	長岡造形大学
横浜国立大学	香川大学	京都造形芸術大学
新潟大学	九州大学	長崎総合科学大学
長岡技術科学大学	鹿児島大学	東京情報大学
富山大学	九州工業大学	武蔵工業大学

### 7-3 専攻科の就職と進学

本校の専攻科は、平成13年4月に設置されました。本科5年間の一貫教育という特徴を活かしながらその上級コースとして、地域・産業界との密接な協力・連携のもとで、より高度な教育・研究指導を行い、研究開発能力や創造能力を備えた新しい型の実践的専門技術者の育成を目指しています。

現在、1期生から10期生までを合わせて、323名が専攻科を修了しています。

次表に、過去3年間の修了生の就職先の一覧を示します。専攻科10期生の就職率は約66%です。

修了年	8期生 (平成22年3月卒)	9期生 (平成23年3月卒)	10期生 (平成24年3月卒)
修了者	36名	34名	41名
就職先	D e N A	I H I	日本海洋掘削
	N T T - M E	J F E スチール	ニコン
	アドヴィックス	J F E 電制	マブチモーター
	池上通信機	東日本旅客鉄道 (2)	TDI ソフトウェアエンジニアリング
	加藤製作所	オリンパス	森精機
	コムニク	カネカ	河村産業
	サントリー	黒田精工	日鐵テクノロジーサーチ (2)
	ジュピターコーポレーション	ジュピターコーポレーション	KCS モバイルエンジニアリング
	ジョイフル本田	ソフト技研	セブンイレブンジャパン
	テツゲン	東京エネシス	NTT データアイ
	東京電力 (2)	東京電力	ジュピターコーポレーション
	成田エアポートテクノ	ニコン	パソコンシステムソリューションズ
	日比谷コンピューターシステム	西日本旅客鉄道	マグネスケール
	ポッシュ	日本軽金属	ヤフー
	牧野フライス製作所	バンダイナムコゲームス	東日本旅客鉄道 (2)
	三菱重工業	フォーラムエイト	前川試験機製作所
	市原市	プレジジョン・システム・サイエンス	アイシンク
	君津市 (2)	大崎コンピュータエンジニアリング	日鉄エレックス
	国土交通省関東地方整備局		ミクシィ
			オデッセイヒューマンシステム
		富士電機	
		富津市役所	
		市原市役所	
		千葉県上級土木職	
		未定	
計	21名	19名	27名

次表に、過去3年間の修了生の進学先を示します。専攻科10期生の大学院進学率は約34%です。

修了年	8期生 (平成22年3月卒)	9期生 (平成23年3月卒)	10期生 (平成24年3月卒)
修了者	36名	34名	41名
進 学 先	筑波大学大学院 (5)	筑波大学大学院 (6)	筑波大学大学院 (2)
	東京工業大学大学院 (2)	千葉大学大学院 (3)	千葉大学大学院 (2)
	東北大学大学院	東京工業大学大学院	東京大学大学院
	横浜国立大学大学院	山梨大学大学院 (2)	東北大学大学院 (2)
	豊橋技術科学大学大学院	木更津高専研究生	横浜国立大学大学院
	長岡技術科学大学大学院	淑徳大学看護学部	長岡技術科学大学大学院
	北陸先端科学技術大学院大学(2)		北陸先端科学技術大学院大学
	山梨大学大学院		埼玉大学大学院
信州大学大学院		千葉工業大学大学院	
計	15	14	12
その他		大学院進学	大学院進学 (2)
計	0	1	2

## 7-4 職業紹介業務運営規程

**第1条** 木更津工業高等専門学校（以下「本校」という。）は、職業安定法（以下「法」という。）第33条の2の規定に基づき、本校学生並びに卒業生に対し無料の職業紹介業務を行う。

**第2条** 職業の紹介は校長が行う。ただし、校長は本校職員のうちから職業紹介に関する業務の担当者を定め、その業務を代行させるものとする。

**第3条** 職業紹介業務は、法、その他の関係法令及び通達に基づいて行うものとする。

**第4条** 法第16条の定めるところにより、いかなる求人の申し込みもこれを受理するものとする。ただし、次の各号に該当する場合はこれを受理しない。

1. 申し込み内容が法令に違反しているとき。
2. 労働条件が通常の条件に比べて著しく不相当であるとき。
3. その職業が教育課程に適切でないとき。

**第5条** 求人の申し込みは、所定の求人票により行う。ただし、それによりがたいときは便宜の方法によって申し込むことができる。

**第6条** 求人者は、求人申し込みの際、業務の内容、賃金、労働時間、その他雇用条件を明示しなければならない。

**第7条** 本校の学生又は卒業生は、すべて求職の申し込みをすることができる。ただし、申し込み内容が法令に違反又は教育上不相当と認められるときは、これを受理しない。

**第8条** 職業紹介にあたっては、求職者にその希望と能力を考慮し、適切と思われる職業を紹介し、求人者にはその希望に適合する者を紹介するよう努めるものとする。

**第9条** 労働争議に対する中立の立場をとるため、同盟罷業又は作業所閉鎖の行われている求人者に対する紹介はこれを行わない。

**第10条** 本校の紹介業務により、雇用関係が成立したとき、又は成立しなかったときは、求職者及び求人者双方において、本校に対しその旨を報告するものとする。

**第11条** 職業紹介関係者は、この業務を行うにあたって知り得た個人的な情報はすべて秘密とし、他に洩らしてはならない。

**第12条** 職業紹介にあたっては、すべての求職者及び求人者に対して公平に取り扱うものとする。

**第13条** この規程に定めるもののほか必要な細則等は校長が別に定める。

附 則

この規程は、昭和 45 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、昭和 57 年 3 月 4 日から施行する。